２００９年5月２７日

「コンプライアンス・ＣＳＲレポート（２００８年度)」に対する活性化委員会の見解

関西テレビ活性化委員会

関西テレビ放送株式会社（以下「関西テレビ」という）より２００９年４月１０日付で公表された「コンプライアンス・ＣＳＲレポート（２００８年度)」(以下「レポート」という）について、当委員会は記載内容を仔細に検討した。

２００８年度、関西テレビは（社）日本民間放送連盟へ完全復帰を果たしたことをはじめ、５０周年記念で、全社員挙げて視聴者の皆様への感謝のためにイベントを行ったことなど、地域に根ざし「視聴者とのつながり」を大切にした放送局に向け、地道な努力を続けていると認識している。

また、編成・制作部門をはじめ、報道、スポーツなど番組制作の各部門では、番組の制作に真摯に取り組む姿勢が見られるほか、営業、イベントなどの部門においても、同様の姿勢が窺える。

なお、当委員会は、３カ月の間に視聴者から寄せられた抗議・苦情についても報告を受け、これを検討したが、重大な人権侵害に該当するものは見受けられない。

裁判員制度が始まるなど、報道を取り巻く環境にも大きな変化が起きており、今後きわめて難しい対応・判断を迫られることもあろうが、関西テレビとしては、慎重を期しつつも、報道すべきことは報道し、主張すべきことは主張し、確固たる信念にもとづき報道機関としての姿勢を堅持されたい。

最後に、民間放送各社の経営環境が厳しさを増しているが、今後も良質な番組作りやイベント開催などに努めることを期待している。

以　上